科目名	一般教養・時事問題 1					年度	2025
英語科目名	General Education and Current Events 1					学期	前期
学科・学年	情報ビジネス科 1年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2
担当教員	風間 恵		教員の実務経験	無	実務経験の職種	企業研修講師	
【科目の目的】 この科目の目的は、社会常識問題を通じて時事問題を理解し、社会情勢に関する知識を深めることで、学生の社会的な洞察力と情報理解能力を高めることです。							
【科目の概要】 この科目では、社会的な出来事や問題を取り上げながら、その背後にある要因や影響を探求します。学生はグループディスカッション、データ分析、研究などの方法を通じて、時事問題を多角的に理解し、意見を形成する能力を養います。							
【到達目標】 時事問題への理解と分析能力 主要科目の問題解決能力 一般常識の知識と応用能力 情報収集と評価能力 トピックへの関心と議論参加							
【授業の注意点】 この授業では一般常識といわれる国語、数学、理科、社会、英語の主要五科目の問題を多く解く。また、今の社会で起きている時事問題を取り上げ、理解を深める。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により内容が前後する場合もある。							
評価基準＝ルーブリック							
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力		
到達目標 A	幅広い時事問題に対して深い理解を持ち、その要因や背景を論理的に分析できる能力を示す	時事問題に対して基本的な理解を持ち、主要な要因や背景を適切に分析できる能力を示す	時事問題に一般的な理解を持ち、一部の要因や背景を分析できる能力を示す	時事問題に対する理解が限定的であり、要因や背景の分析が難しい	時事問題に対する理解が不十分であり、要因や背景の分析ができていない		
到達目標 B	主要科目（国語、数学、理科、社会、英語）の幅広い問題に対して高度な解決能力を持ち、正確な知識と論理的思考で問題を解く能力を示す	主要科目の幅広い問題に対して適切な解決能力を持ち、正確な知識と論理的思考で問題を解く能力を示す	主要科目の一部の問題に対して基本的な解決能力を持ち、正確な知識と論理的思考で問題を解く能力を示す	主要科目の問題解決能力が限定的であり、正確な知識や論理的思考が難しい	主要科目の問題解決能力が不十分であり、正確な知識や論理的思考ができていない		
到達目標 C	幅広い一般常識の知識を持ち、さまざまな状況や問題に適切に応用できる能力を示す	一般常識の基本的な知識を持ち、一般的な状況や問題に適切に応用できる能力を示す	一般常識の一部の知識を持ち、限定的な状況や問題に適切に応用できる能力を示す	一般常識の知識が限定的であり、应用能力が難しい	一般常識の知識が不十分であり、应用能力ができていない		
到達目標 D	適切な情報源から幅広い情報を収集し、信頼性や適切性を評価し、正確な情報を選別する能力を示す	情報源から基本的な情報を収集し、信頼性や適切性を適切に評価し、選別する能力を示す	一部の情報源から情報を収集し、信頼性や適切性を評価し、選別する能力を示す	情報収集が限定的であり、信頼性や適切性の評価や選別が難しい	情報収集が不十分であり、信頼性や適切性の評価や選別ができていない		
到達目標 E	幅広いトピックへの関心を持ち、クラス内での議論やディスカッションに積極的に参加し、自身の意見を適切に表現し、他者の意見と対話する能力を示す	一般的なトピックへの関心を持ち、議論やディスカッションに適切に参加し、自身の意見を表現し、他者の意見と対話する能力を示す	一部のトピックへの関心を持ち、議論やディスカッションに参加し、自身の意見を適切に表現し、他者の意見と対話する能力を示す	トピックへの関心が限定的であり、議論やディスカッションへの参加や意見表現が難しい	トピックへの関心が不十分であり、議論やディスカッションへの参加や意見表現ができていない		
【教科書】							
【参考資料】 必要に応じて資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。							
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題 80% 試験と課題を総合的に評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							

科目名		一般教養・時事問題 1			年度	2025
英語表記					学期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	科目概要と学習目標	科目の目的と学習の方針を理解する	1	科目の重要性	一般教養と時事問題の重要性を理解し、学習の方針を把握する	3
			2	学習目標の確認		
			3	評価基準の説明		
2	社会常識の基本	社会常識の基本的な概念と重要性を理解する	1	社会の基本的な構造、制度、法律、マナーについて	社会常識の基本を身につけ、社会における行動原則を理解する	3
			2			
			3			
3	時事問題の分析と解説	時事問題の背景や重要性を分析し、解説するスキルを磨く	1	ニュース記事や報道からの情報収集	時事問題の情報を正しく理解し、分析するスキルを向上させる	3
			2	情報の信頼性の評価		
			3			
4	国語に関する時事問題	時事問題を通じて国語力を向上させる	1	論説文や記事の読解	論点の抽出や文章の意図を読み取るスキルを発展させる	3
			2	言葉の正確な理解		
			3			
5	数学に関する時事問題	時事問題を通じて数学的思考力を養う	1	統計データの解釈	数学的な情報の解釈や分析能力を高める	3
			2	グラフの分析		
			3	数値の評価		
6	理科に関する時事問題	時事問題を通じて科学的な視点を養う	1	環境問題	科学的な情報の理解と批判能力を向上させる	3
			2	医療情報		
			3	科学技術の進歩などの分析		
7	社会に関する時事問題	時事問題を通じて社会の動向と課題を理解する	1	政治	社会的な影響や意義を考える力を養う	3
			2	経済		
			3	国際問題などの解析と議論		
8	英語に関する時事問題	時事問題を通じて英語リーディングとコミュニケーションスキルを向上させる	1	英語記事の読解	英語での情報収集とコミュニケーション能力を発展させる	3
			2	重要な表現やフレーズの把握		
			3			
9	クイズとディスカッション：一般教養の確認	学習内容を振り返り、クイズとディスカッションを通じて理解を確認する	1	過去の授業内容に関するクイズとディスカッション	学んだ内容を総合的に理解し、討論する力を向上させる	3
			2			
			3			
10	社会常識と時事問題：グループプロジェクト	グループで社会課題を分析し、解決策を提案するスキルを養う	1	グループプロジェクトのテーマ設定、調査	社会課題の分析と解決策の提案能力を向上させる	3
			2	発表		
			3			
11	倫理と価値観の議論	倫理的な視点から時事問題を考えるスキルを養う	1	倫理的ジレンマ	倫理的な観点から社会課題を考える力を発展させる	3
			2	社会的価値観の影響		
			3	多様性の尊重		
12	偽情報とメディアリテラシー	偽情報に対抗するためのメディアリテラシーを向上させる	1	偽情報の特徴	正確な情報を判断し、偽情報に対抗する力を養う	3
			2	信頼性の評価		
			3	情報の出典確認		
13	グローバルな視点と国際問題	グローバルな視野から国際問題を理解するスキルを培う	1	国際協力	グローバルな視点で国際問題を理解し、議論する力を向上させる	3
			2	地域紛争		
			3	国際経済などの分析		
14	人権と社会的課題	人権問題や社会的課題に対する理解と対応策を考えるスキルを磨く	1	性別平等	人権と社会的課題に対する理解と対話能力を高める	3
			2	多様性尊重		
			3	社会的格差などの議論		
15	科目総括と今後の社会参加	科目の学びを振り返り、今後の社会での参加意識を高める	1	科目で学んだ知識とスキルの活用方法	科目の学びを総括し、社会での関与を考える力を養う	3
			2	社会参加の意義		
			3			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等